

新型コロナウイルス感染症への対応

キヤノンは世界各地でその地域のニーズに耳を傾け、製品や日用品の寄付、また医療機器の早期納品など自社の技術やサービスを通じた医療現場のサポートを行っています。また、製品・技術・ソリューションなど自社の強みを活用しながら、ニューノーマル(新たな生活様式)を見据えた取り組みを積極的に進めています

新型コロナウイルス感染症への対応

医療現場のサポート



新型コロナウイルス感染症を診断するための画像診断装置や検査試薬の開発、また生産技術を生かして製造したフェイスシールドの提供など、医療現場を支える活動や社会の感染リスク低減に取り組んでいます。



寄付や募金活動



世界各地で、マスクやフェイスシールドなどの衛生関連製品のほか、食料品など生活必需品の提供や募金活動を実施しています。



知的財産を通じた貢献



新型コロナウイルス感染症のまん延終結を唯一の目的とした開発・製造などの行為に対して、保有する知的財産権を行使しないことを宣言する「COVID-19と戦う知財宣言」に発起人として参画することで、感染症の早期収束を支援しています。



このほかの活動の紹介はこちら

<https://global.canon/ja/info/covid-19/>



社内における感染拡大防止の取り組み

キヤノン(株)では、対策チームを設置し、国内グループ各社が連携し取り組みを進めています。

職場におけるマスクの着用、手洗いの徹底、咳エチケット、十分な栄養や睡眠を取るなど、体調管理と感染症予防の徹底を呼び掛けるほか、海外渡航制限、社内外大規模イベントの中止や職場におけるソーシャルディスタンスの確保、時差出勤・リモートワークの実施など感染拡大防止に向けた対応をとっています。また在宅勤務を制度化するなど、雇用や就労形態の多様化にあわせた労働環境の基盤整備を進めています。

海外グループ会社についても、各国政府の方針、ならびに社会状況に鑑みた取り組みを継続して実施しています。

参考：新型コロナウイルス感染症による経営や業績への影響については、P109にてご覧いただけます

ニューノーマル時代への対応

安心・安全な生活環境づくりの支援



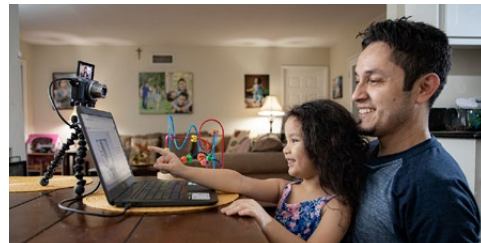
新型コロナウイルス抗原を迅速かつ簡便に検出する抗原定性検査キットのほか、コンテナの中にX線CT診断装置一式を搭載し、必要な時に、必要な場所での画像診断が可能なモバイルCTソリューションなど、感染症対策に取り組む社会のニーズに応えています。



もっと便利で豊かなコミュニケーションの実現



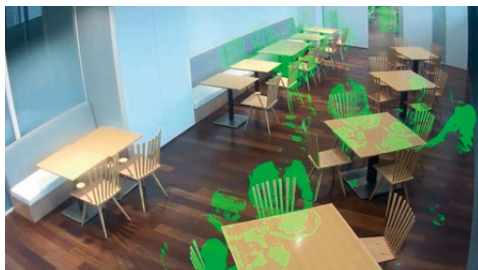
EOSをWebカメラとして利用することで、一眼レフやミラーレスならではの美しい映像で、場所を問わず仕事やイベント、学習できるオンラインコミュニケーション環境を実現。すべての人が平等に社会参加できる新しいコミュニケーション環境の整備に貢献しています。



安心して暮らせる社会づくりの支援



映像内の動く人物をシルエット表示しながらカウント。プライバシーにも配慮しながら、レストランや会議室などの空席状況や混み具合を把握可能にすることで、ソーシャルディスタンスの確保を支援します。



オフィスのDXを支援



クラウドサービスと一体化することで、オフィスにある膨大な紙文書を高速・高品質に電子化できる複合機を提供。オフィスのデジタル化を通じて、急速に拡大するテレワークなど多様化する働き方をサポートします。



新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、社会経済システム、人々の行動、意識、価値観に至るまでさまざまなシーンに大きな変容をもたらしています。非対面、非接触を前提としたライフスタイルに移行せざるをえなくなる中、テレワーク、オンライン授業、オンライン診療などが一気に普及し、これに伴って社会や経済、産業構造を変革するデジタルトランスフォーメーション(DX)もますます加速しています。

キャノンはこのニューノーマル時代の変化に対応し、人や社会に配慮した取り組みを展開することは企業市民としての責務と捉え、世界が一丸となって取り組むSDGsを道しるべの一つとして活用しながら、持続可能でレジリエントな社会、すなわち人々が安心・安全、そして快適に暮らせる豊かな社会の実現に貢献していきます。